

# 会 議 結 果 報 告 書

令和3年6月21日

|        |   |
|--------|---|
| 会議の名称  | 第31回志木市新型コロナウイルス感染症対策本部会議   |
| 開催日時   | 令和3年6月21日（月）8時40分～9時20分   |
| 開催場所   | 庁議室   |
| 出席者    | 市長 香川 武文 副市長 櫻井 正彦 教育長 柚木 博<br>総合行政部長 尾崎 誠一 総務部長 川幡 浩之<br>市民生活部長 村山 修 福祉部長 村上 孝浩<br>子ども・健康部長 大熊 克之 都市整備部長 中森 福夫<br>市長公室長 松永 仁 上下水道総務課長 佐藤 英樹<br>会計管理者 豊島 俊二 議会事務局長 大河内 充<br>教育政策部長 北村 竜一 防災危機管理課長 篠崎 勉<br>健康増進センター所長 大野 広幸<br>新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長 杉田 明子<br>秘書政策課長 外立 健一 (計18人) |
| 欠席者    | (計0人)   |
| 説明員職氏名 | 秘書政策課長 外立 健一<br>新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長 杉田 明子<br>(計2人)   |
| 議 題    | (1) 埼玉県におけるまん延防止等重点措置等の延長に伴う本市<br>の対応について<br>(2) その他  |
| 結 果    | まん延防止等重点措置等に係る対応について、市内の公共施設の<br>夜間区分の新規貸出は午後9時までに変更し、その他については、<br>これまでの対応を継続することとした。ワクチンの接種について<br>は、県からのワクチン供給量の減少を考慮し、8月以降のワクチン<br>の予約枠について医師会と協議していくこととした。  |
| 事務局職員  | 秘書政策課長 外立 健一<br>秘書政策課主事 村山 健太   |

## 審議内容の記録（審議経過、結論等）

### 1 開会

### 2 議事（志木市新型コロナウイルス感染症対策本部員は、本部員と表記する。）

（1）埼玉県におけるまん延防止等重点措置等の延長に伴う本市の対応について  
外立秘書政策課長より説明後、意見交換を行った。

本市の陽性者数の発生状況について、直近3週間の動向をみると減少傾向がみられた。

令和3年6月17日に開催された埼玉県における新型コロナウイルス対策本部会議において、緊急事態宣言の発出を要請する段階ではないものの、引き続き、感染拡大防止対策の徹底が必要な状況であることから、埼玉県におけるまん延防止等重点措置等を実施すべき期間を7月11日まで延長することとなり、志木市は、6月21日より重点措置区域外となった。

それに伴う志木市の対応として、市内の公共施設の開館については、夜間区分の新規貸出は午後9時までに変更し、イベントの実施については、感染対策を講じながら開催の可否を決定することとした。また、職員に対しては、飲食の際は、90分を限度とすること、ホームパーティーを自粛することを新たに周知することとした。

### （2）その他

杉田新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長より、以下①～②について説明後、意見交換を行った。

#### ①埼玉県からのワクチン供給量の減少について

第7クール（6月10日）までは、予定通り県からワクチンの供給を受けていたが、第8クール（6月21日）からは、予定通りのワクチンが届かない状況であり、このままでは、1週間あたり約4000人の予約枠を7月19日の週までしか維持できない。それ以降の週については、ワクチンの供給数が未定であるため、医師会と8月以降の予約枠について協議する予定である。

接種体制は整っているが、ワクチンの供給が減少しているため、接種スケジュールが遅れる可能性がある。

②受験生に対する接種スケジュールの前倒しについて

現状では、12歳～19歳のワクチン接種のスケジュールは、8月30日からであるが、今後のワクチンの供給数を考慮すると遅れてしまう。そのため、中学、高校の受験生に該当する2学年に対しては、接種券の発送を前倒しにできないか検討する。

(本部員)

志木市だけでなく、他市も同様に、予定通りワクチンが供給されていない状況なのか。

(説明員)

他市も同じ状況である。

(本部員)

予約をしても、接種できない状況に今後なりうるのか。

(説明員)

現状はそのような状況でないが、そうならないために予約枠の調整を検討する。

(本部員)

志木市は県に対して、何箱のワクチンを希望として提出しているのか

(説明員)

第8クールは、14箱を希望として提出したが、実際の供給は8箱となっている。1クールあたりの供給が7箱を下回ると1週間に約4,000人のワクチン接種の予約枠を確保できなくなる。

(本部員)

前倒しで行う受験生のワクチン接種の対象は小学6年生、中学3年生、高校3年生か。

(説明員)

中学3年生と高校3年生を対象とする予定である。

(本部員)

ファイザー社製のワクチンが不足し、モデルナ社製のワクチンに切り替わる可能性があるのではないか。その場合、モデルナ社製のワクチンは、個別接種ではなく、大規模接種会場でないと打てないのではないか。

(説明員)

ワクチンが混在しないように十分に配慮する必要があるが、必ずしも集団接種会場である必要はないと認識している。また、志木市での集団接種会場の体制整備に関しては、必要に応じて、医師会と協議していく。

### 3 閉会